

## 【NEWS RELEASE】

2020年9月10日

SMBC日興証券株式会社

東北電力株式会社のグリーンボンド引受けのお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、東北電力株式会社(取締役社長:樋口 康二郎、本店所在地:仙台市青葉区、以下「東北電力」)が発行するグリーンボンド(以下「本グリーンボンド」)の引受けにおいて、事務主幹事及びグリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント<sup>※1</sup>を務めましたのでお知らせいたします。

東北電力は、風力発電を主軸とした再生可能エネルギーについて、東北6県及び新潟県を中心に200万kWの開発を目指しており、本グリーンボンドで調達する資金は、主にこの事業に充当する予定です。本グリーンボンドの発行にあたっては、グリーンボンド原則等の各種基準等への適合性についての第三者評価機関による評価及び検証を受けており、CBI(Climate Bonds Initiative:グリーンボンドの信頼性や透明性を確保するための厳格な基準を定める国際NGO)からの認証<sup>※2</sup>を、旧一般電気事業者として初めて取得しています。なお、CBIによる認証取得にあたっては、今後のグリーンボンド発行を機動的に行うことができるよう、「プログラム認証」<sup>※3</sup>を取得しております。

当社では、金融・資本市場におけるビジネスを通じた環境・社会課題の解決のため、専門部署である「SDGsファイナンス室」を設置し、ESGの推進に積極的に取り組んでおります。この度の引受けは、当社におけるグリーンボンド及びSDGsファイナンスに係る知見を示すと同時に、ESG投資、ESGをテーマとした商品の更なる拡大に繋がるものと考えております。また、本グリーンボンドの引受けを通じて、当社はSDGsの掲げる「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」及び「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に貢献していきます。



※1 グリーンボンドのフレームワークの策定及び第三者評価取得のための助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。

※2 第三者評価機関により気候ボンド基準への適合性の検証を受けた債券に対しCBIにより付与される認証。なお、気候ボンド基準とは、グリーンボンドについて、パリ協定における2°C目標と一致していることを、厳格な科学的根拠に基づいて策定した国際的な基準。

※3 複数回のグリーンボンド発行を前提とした発行主体が取得することで、一部起債手続きを簡素化し、グリーンボンドの機動的な発行が可能となる制度。

いっしょに、明日のこと。  
Share the Future

【今回発行される東北電力株式会社第 524 回社債(一般担保付)(グリーンボンド)  
(別称:第2回東北電力グリーンボンド)の概要】

名称	東北電力株式会社第 524 回社債(一般担保付)(グリーンボンド) (別称:第2回東北電力グリーンボンド)
年限	10 年
利率	0.320%
発行額	100 億円
条件決定日	2020 年 9 月 10 日
払込日	2020 年 9 月 16 日
償還日	2030 年 9 月 25 日
取得格付	A+(R&I)、AA(JCR)
グリーンボンド・ ストラクチャリング・ エージェント	SMBC日興証券株式会社
第三者評価及び検証	<p>【評価及び検証】</p> <p>DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社 (以下、DNV GL) において下記基準等への適合性について評価又は検証を取得          グリーンボンド原則 2018(ICMA)          グリーンボンドガイドライン 2020 年版(環境省)          気候ボンド基準 3.0 版(Climate Bonds Standard Version 3.0)</p> <p>【認証】</p> <p>DNV GL からの上記気候ボンド基準 3.0 版に対する検証をもって、厳格な基準を設ける CBI 認証(気候ボンド認証)を取得</p>

以上